

おめでとう!

志津川中瀬町行政区

全員そろって地元の仮設住宅へ!



祝いの『飯土井神楽』
by 地元のお母さん方

RQが拠点を構える宮城県登米市の旧・鱒淵小学校に避難していた同県南三陸町志津川中瀬町行政区のみなさんが、もとの行政区内に建てた仮設住宅に入居することになり、8月4日「退所&お迎え」セレモニーが開かれました。

RQもごあいさつ

「不覚にもマイクを前に込み上げると、思いが言葉が出ませんでした…」

被災後4日間、区長の佐藤徳郎さん(現在60)は日に20km近く瓦礫を縫って大小無数の避難所を歩き回り、全地区民の所在と生死を確認しました。そして「地域の人バラバラになれば阪神大震災の孤独死の二の舞になってしまうべ」という声に動かされ、コミュニティの維持を最優先課題とし、集落単位の移動を推奨する町の方針を受けて集団での2次避難を決断、避難世帯の9割117人が鱒淵小で暮らしていました。



鱒淵小の生活は楽しい思い出ばかりです...

記念撮影風景

簡単ではない「みんなで戻る」

南三陸町で確保された仮設住宅用公有地は1000戸分しかなく、しかも入居者は一般抽選で選ばれることとなります。このため佐藤さんたちは、地域の人々がまとまって入居できるように、自分達で民有地を借りる交渉をし、同時に町や県に対し「民有地に仮設住宅を建てる」ことの認可を求めました。「一行政区が一つの仮設住宅に入居する」ためには、区長のリーダーシップと、地区民の結束力の両方が不可欠だったのです。

送りあわせ/迎えることば

- 「..(感涙)..お約束した通りお迎えに参りました。町として皆さんに無理ばかりお願いしてきましたが、それを我慢して下さいました皆さんに本当に感謝しています」(南三陸町長)
- 「たまにお茶っこ飲みに来て下さい。末永くお付き合いしましょう」(登米市長)
- 「中瀬町地区の皆さんは今後の避難所、仮設のあり方の導きの羅針盤になります」(RQ代表広瀬)

くじけそうなき話し相手になってくれてありがとう!

いよに育てたジヤガイもおいしかったわ

佐藤区長の「私のような至らない区長についてきて下さってありがとう」という言葉にはみんな号泣。最後は互いの幸せを願いながらバスを見送りました。



RQ 唐桑ではボランティア募集中です!

緊急告知

「いちゃりばちよ-で-」ごみなじみのRQ唐桑ボランティアセンターが深刻なボランティア不足に悩んでいます。唐桑リピーターも新規の方もぜひ!

ボランティア支援基金はじまりました [東部地区] ラ・ティエータ西表 宇南風見 大原港ターミナル(竹富町観光協会、八重山観光フェリー) 大富売店 [西部地区] ゆりみな(上原港ターミナル) スーパー川満 西部歯科診療所 santa nu neene カフェなかくい ダイビングチームうなりざき 民宿ハイン館 民宿あけほの館 民宿母家 マリンロッジアトク 西表島エコツーリズム協会 紅露工房浦内川観光 イルンティフタテムラ 星砂スーパー 金城旅館 関係作戦に引き続き募金箱を設置していただき ありがとうございます!

we support!

RQ
市民災害
救援センター

復興支援
かわけらばん

すけきた

しんぶん

立秋
朝日

「東北に黒霧を送ろう! 大作戦しんぶん」改め